

米国財務会計基準審議会（FASB） との第23回定期協議の概要

ASBJ専門研究員 やまぐち なみ
山口 奈美

1. はじめに

2018年1月31日及び2月1日の2日間、企業会計基準委員会（ASBJ）は、米国財務会計基準審議会（FASB）との間で、第23回定期協議を東京で開催した。ASBJからは小賀坂副委員長、川西常勤委員のほかスタッフが参加した。FASBからは、ラッセル・ゴールデン議長、及びクリスティーン・ボトサン理事が参加した。

2. 全体のスケジュール

日時	議題
1月31日	近況報告
	業績報告及び開示
	企業結合
	金融商品
2月1日 午前	概念フレームワーク（構成要素）
	リース

3. 議事概要

(1) 近況報告

FASB及びASBJの代表者の双方より近況報告がなされ、意見交換が行われた。

FASBの代表者からは、主に次の項目を中心に報告と議論がなされた。

- ヘッジに関する基準開発
- 長期保険契約に関する基準開発
- 新基準の導入支援
- アジェンダ協議の結果
- 税制改革—米国税制改正法
- その他のプロジェクト

ASBJの代表者からは、次の項目を中心に報告と議論がなされた。

- 仮想通貨
- のれん及び減損

(2) 業績報告及び開示

FASBのテクニカル・アジェンダ項目にも含まれている業績報告及び開示に関して、複数の論点が議論された。

- 損益計算書に表示される情報の分解
- セグメント報告の改善の可能性
- 会計方針及び会計上の見積りの変更に関する変更

- 企業価値評価の観点から考えた損益計算書の構造
- 概念基準書で想定される利用者及び利用者による情報の消費

(3) 企業結合

共通支配下の取引の会計処理について、ASBJ スタッフの考察が示され、議論が行われた。

(4) 金融商品

FASB による金融商品に関する会計基準の開発及び導入支援活動に関連して、ASBJ スタッフが識別した次の論点が議論された。

- 金融規制と会計基準
- 信用損失／公正価値測定

(5) 概念フレームワーク（構成要素）

FASB において進行中の概念フレームワークの改訂に関するプロジェクトに関連して、次の論点に関する ASBJ スタッフの考察が示され、議論が行われた。

- 「権利」に基づく資産の定義
- 資産及び負債の定義において「発生可能性 (probability)」に言及する必要があるか
- 負債と資本の分類のための可能性あるアプローチ
- 財務業績計算書に関連する構成要素の定義

(6) リース

ASBJ の代表者より、日本における IFRS 第 16 号「リース」のエンドースメント手続、及び日本基準におけるリース会計基準の変更の可能性に関する議論が紹介された。また、個別の論点として次が議論された。

- 契約にリースが含まれるかどうかの判定
- リース期間の考え方

4. 次回の予定

次回の定期協議は、2018年8月にノーワークで開催することが予定されている。

